

# 新たな市町村森林整備計画の概要

2012(H24)  
准フォレスター研修

# 主な内容

1. 市町村森林整備計画の見直し
2. 市町村森林整備計画の構成
3. 市町村森林整備計画の原案作成
4. 市町村森林整備計画の図示化 ほか

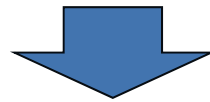
(テキスト:「第3部(P82～105)」)

(参考資料:「天然更新完了基準書作成の手引き」)

# 1. 市町村森林整備計画制度の見直し

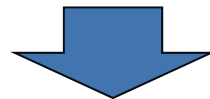
## (1) 平成10年森林法改正で導入

- ① 全市町村で作成
- ② 森林施業の総合的な規範
- ③ 森林施業計画の認定、伐造届の受理等の権限が都道府県から市町村に委譲

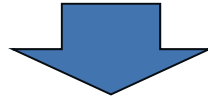


## (2) 課題

- ・森林・林業の専門知識をもった職員がいない
- ・森林の3区分が硬直的、内容が理解されにくい
- ・いわゆる「紋切り型」の計画



# 1. 市町村森林整備計画制度の見直し



## (3) 今回の見直し（マスタープラン化）

### ①ゾーニング

- ・3機能区分の廃止
- ・市町村が主体的にゾーニングや施業方法を決定する仕組みの導入
- ・ゾーニングの重複や白地の設定も可能

### ② 路網整備

- ・路網密度水準の設定
- ・路網整備等推進区域の設定
- ・予定路線

### ③図示化

- ・概要図の作成が原則

## 2. 市町村森林整備計画の構成

計画事項	※
I 伐採、造林、保育その他森林の整備に関する <b>基本的な事項</b>	
1 森林整備の現状と課題	(1)
2 森林整備の基本方針	
3 森林施業の合理化に関する基本方針	
II 森林の整備に関する事項	
第1 森林の立木竹の <b>伐採</b> に関する事項(間伐に関する事項を除く)	(3)
第2 <b>造林</b> に関する事項	
第3 <b>間伐</b> を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法その他間伐及び保育の基準	
第4 <b>公益的機能別施業森林等</b> の整備に関する事項	(2)
第5 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施の促進に関する事項	
第6 森林施業の共同化の促進に関する事項	
第7 <b>作業路網</b> その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項	(4)
第8 その他必要な事項	
1 林業に従事する者の養成及び確保に関する事項	(5)
2 森林施業の合理化を図るために必要な機械の導入の促進に関する事項	
3 林産物の利用の促進のために必要な <b>施設の整備</b> に関する事項	
III 森林病虫害の駆除及び予防、火災の予防その他森林の保護に関する事項	
IV 森林の保健機能の増進に関する事項	
V その他森林の整備のために必要な事項	
付属資料(市町村森林整備計画概要図、参考資料)	

※ 括弧書きの番号は、これ以降のスライドに対応

### 3. 市町村森林整備計画制度の原案作成

#### (1) 森林の整備に関する基本的な事項

- ①地域の森林・林業の目指すべき方向、目標を記載
- ②手抜きされがちであったが、地域の関係者の意識を共有していく上での理念的バックボーン。
- ③「構想」として本当は最重要。

#### (事例)舞鶴市

- ・計画本体の「基本的な事項」の記述を機能別・地域別に充実。
- ・計画書の冒頭に「はじめに」を置き、イラストを付しつつ、「2050年のまいる ~ 森林と木のある暮らし」として、将来の森林・林業のイメージを分かりやすく記載。



### 3. 市町村森林整備計画制度の原案作成

#### (2) ゾーニング(「公益的機能別施業森林<sup>等</sup>の整備」)

木材生産機能維持増進森林

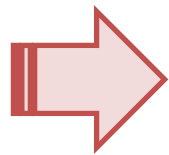
##### 【H23年度までの森林の3区分】

水土保持林
森林と人との共生林
資源循環利用林

##### 特徴

- 重複なし(3つ区分の一つだけを指定)
- 白地なし(全ての森林を3つの区分のどれかに必ず指定)

##### 【H24年度からの森林の区域の設定】



水源涵養機能維持増進森林
山地災害防止／土壌保全機能維持増進森林
快適環境機能維持増進森林
保健文化機能維持増進森林(生物多様性保全を含む)
木材生産機能維持増進森林

公益的機能別施業森林

##### 特徴

- 重複あり(複数の区域の設定も可能)
- 白地あり(何の区域設定のない森林もあり)

### 3. 市町村森林整備計画制度の原案作成

#### (2) ゾーニング(「公益的機能別施業森林等の整備」)

木材生産機能維持増進森林

##### ①公益的機能別施業森林

- ・法指定、機能評価等を踏まえて決定

##### ②木材生産機能維持増進森林

- ・3機能区分の時は、「水土」「共生」のゾーンの「残り」
- ・今回の改正により、①との重複が可能に。

**→林業(木材生産)の対象地の見極めが必要**

(参考)木材生産機能維持増進森林の設定の考え方

a)森林の現況(=木材生産にふさわしい森林か否かの評価)

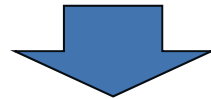
b)生産活動の可能性(=路網整備や架線系作業システム導入の可能性があるか否か評価)



### 3. 地域レベルの森林・林業の構想の要素

(参考) 配置の目標林型(ゾーニング)の必要性

- ① 森林は緑の社会資本→森林に対する自然的・社会的ニーズを踏まえて森林の整備・保全を進めていく必要
- ② 狭い国土に多くの人口を擁する我が国では、個々の森林に対して期待される機能が併存するが多い
- ③ 森づくりには税金が投入されており、森づくりは国民の理解と協力を得て進めていくことが必要

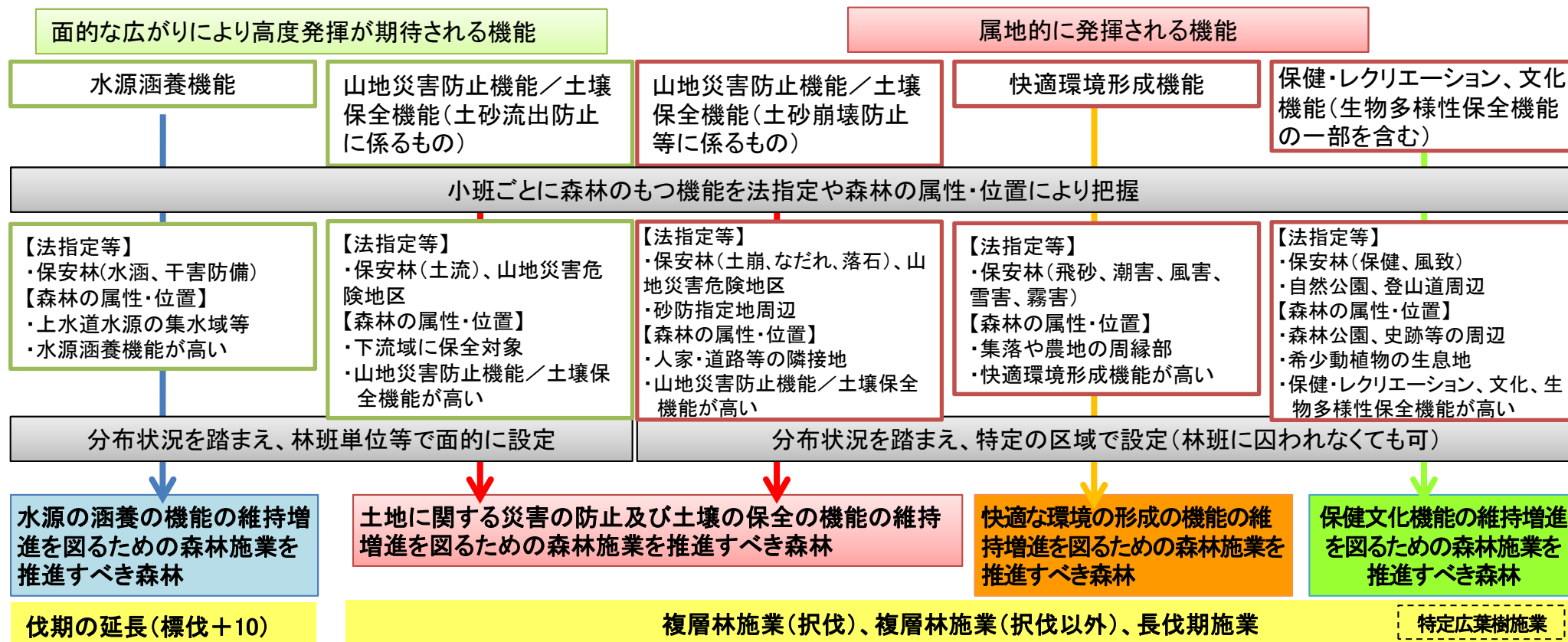


地域の森林に期待される機能を明らかにした上で、森づくりの方向性を分かり易く示すことが必要

# 公益的機能別施業森林等の区域を活用した場合のゾーニングの設定

ゾーニングの設定は以下も参考にしながら、法指定や森林の機能評価、自然的、社会的及び経済的条件を踏まえ総合的に判断する。

## ① 公益的機能別施業森林



個々の森林において発揮が求められる機能が複数ある場合には、区域が重複することも認められる。

## ② 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

- ・林木の生育が良好な森林
- ・林道等の開設(予定)、地形等から効率的な木材生産が期待できる森林

分布状況を踏まえ面的に設定

木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

「公益的機能別施業森林以外の区域＝木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林」ではなく、森林の属性を踏まえて区域を設定。公益的機能別施業森林との重複も認められる。



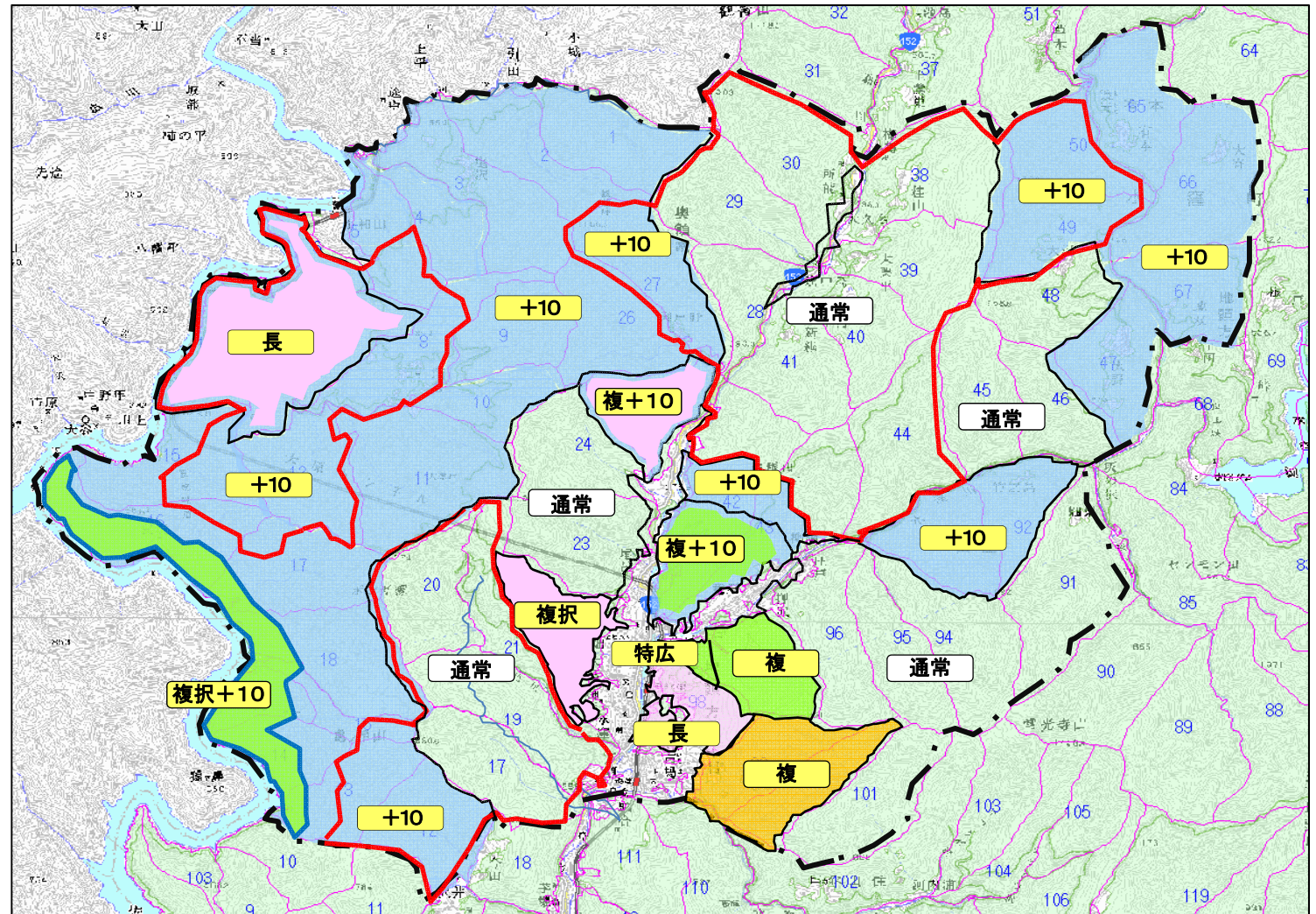
# 市町村森林整備計画のゾーニングのイメージ

## ○ゾーニングの凡例

ゾーニングの種類	
実公益 施基 準機 能を 適別 用森 する 施区 業域 の	水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林 施業を推進すべき森林
	土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能 の維持増進を図るための森林施業を推進すべき 森林
	快適な環境の形成の機能の維持増進を図るため の森林施業を推進すべき森林
	保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を 推進すべき森林 (生物多様性保全に係るもの)
	木材の生産機能の維持増進を図るための森林施 業を推進すべき森林

## ○施業の方法

施業種(誘導の方法)	凡例
通常の施業	通常
伐期の延長を推進すべき森林	+10
長伐期施業を推進すべき森林	長
複層林施業を推進すべき森林(択伐 によるものを除く)	複
択伐による複層林施業を推進すべき 森林	複択
特定広葉樹の育成を行う森林施業を 推進すべき森林	特広



※ 伐期の延長と、長伐期施業、複層林施業及び択伐による複層林施業のいずれかの施業とは、重複して記載することも可能。

### 3. 市町村森林整備計画制度の原案作成

#### (3) 標準的な施業の方法(「立木竹の伐採」「造林」「間伐及び保育」)

##### ◎ 検討課題

##### ①収穫予想表の見直し、コンテナ苗の導入等

→本庁・試験研究機関と連携して森林計画単位で見直し

##### ②天然更新の取扱い

ア)対象樹種や標準的な方法等の見直し

イ)「植栽によらなければ適確な更新が困難な森林」

- ・都道府県ごとに設定がまちまち。

- ・「天然更新完了基準書作成の手引き」で考え方を整理。

→一定の外形的要件で抽出。図示化。

※「計画期間内に間伐を実施する必要がある森林」(≠要間伐森林)

- ・森林経営計画等が作成されておらず、計画前期5年間で間伐を実施すべき森林(例えば0.5ha以上)をリストアップ又は図示化。

### 3. 市町村森林整備計画制度の原案作成

#### (4) 路網の整備

##### ① 路網密度水準の設定

- ・地域の地形・地質条件、現在・将来の作業システム等を踏まえ、傾斜別・作業システム別に設定

区分	作業システム	基幹路網			細部路網	路網密度
		林道	林業専用道	小計	森林作業道	
緩傾斜地 (0～15°)	車両系	15～20	20～30	35～50	65～200	100～250
中傾斜地 (15～30°)	車両系	15～20	10～20	25～40	50～160	75～200
	架線系				0～35	25～75
急傾斜地 (30～35°)	車両系	15～20	0～5	15～25	45～125	60～150
	架線系				0～25	15～50
急峻地 (35°～)	架線系	5～15	—	5～15	—	5～15

##### ② 路網整備等推進区域(路網整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域)

- ・計画期間内に路網整備や施業集約化を推進する区域
- ・木材生産機能維持増進森林の区域を中心に設定(図示)  
(ゾーニングの中にゾーニングするイメージ)
- ・区域内の基幹路網の予定線を図示



## 路網整備等推進区域の考え方について

○ 路網整備等推進区域とは、基幹路網整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域

### 地形・地質

- 傾斜が急峻な箇所以外
- 脆弱な地質、土壌な箇所以外



### 森林の機能別調査

- 森林の機能別調査の「木材等生産機能」が「L」以外



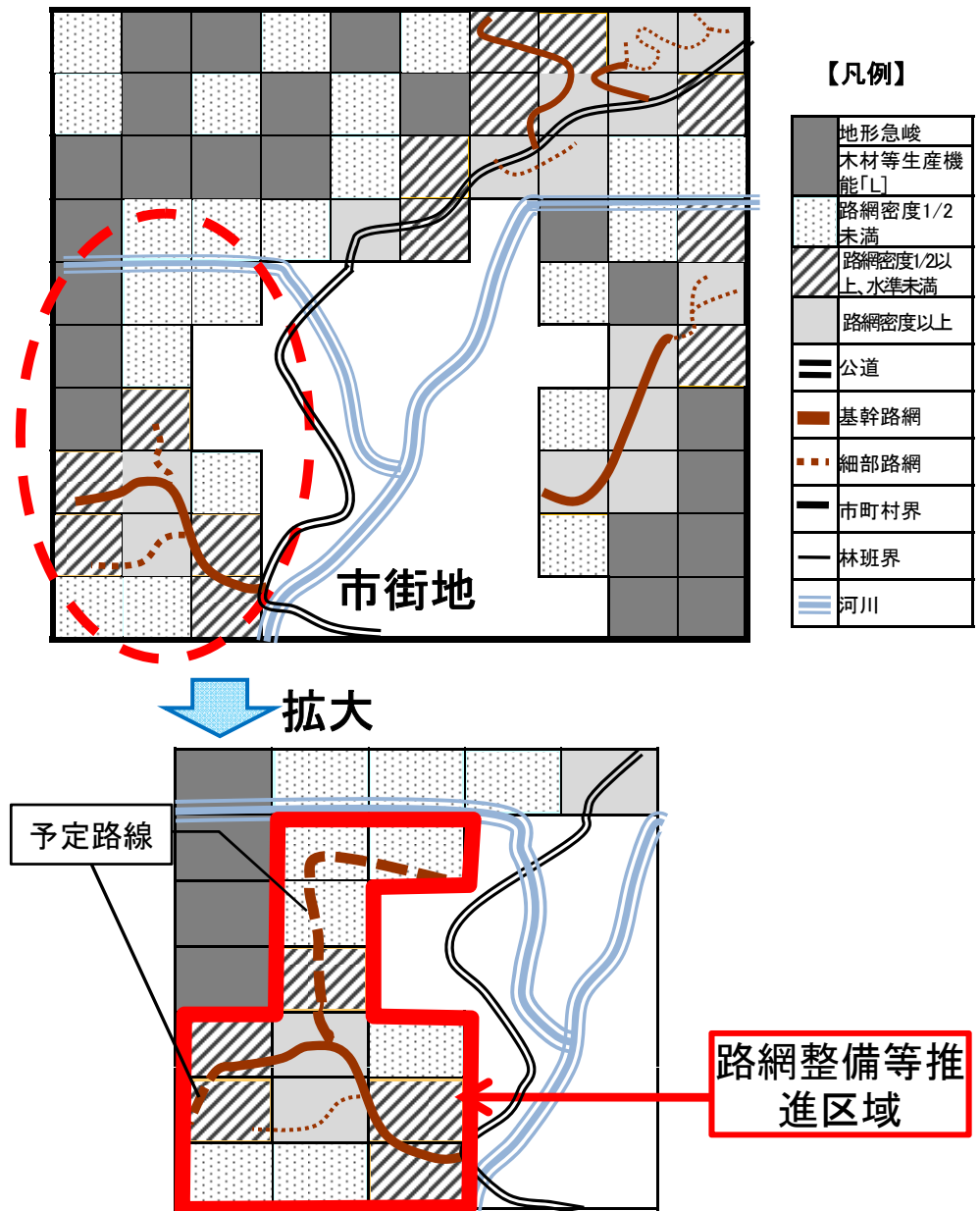
### 傾斜に応じた路網密度水準

A	B	C
基幹路網の密度水準の2分の1未満	基幹路網の密度水準の2分の1以上、水準未満	上回る



A～Cに区分された林班の分布や幹線となる林道の利用区域を考慮しつつ路網整備等推進区域を設定

林班ごとに判断



## 4. 市町村森林整備計画制度の図示化

### 現 行

#### 1. 森林整備計画概要図(縮尺:1/25,000)

- ①市町村界
- ②旧市町村界
- ③土地利用(森林原野(国有林、民有林)、農地)
- ④要間伐森林
- ⑤公益的機能別施業森林区域  
(水土保持林、森林と人との共生林)
- ⑥保健機能森林区域
- ⑦森林施業の共同化の重点実施地区
- ⑧道路  
(林道、林道開設予定路線、作業路、作業路開設予定路線、公道  
(国県道、市町村道、市町村道等))
- ⑨活動拠点施設
- ⑩作業路網以外の森林の整備のために必要な施設
- ⑪林産物の生産(特用林産物)、流通、加工販売施設
- ⑫生活環境施設
- ⑬森林の総合利用施設等

#### 【現行】

必要に応じて計画書に市町村森林整備計画概要図を添付

#### 【改正後】

計画書とあわせて市町村森林整備計画概要図を作成

### 改 正 後

#### 1. 市町村森林整備計画概要図(縮尺:1/25,000)

- ①市町村界
  - ②旧市町村界
  - ③土地利用(森林原野(国有林、民有林(公有林))、農地)
  - ④森林資源状況(人工林、人工林以外)
  - ⑤植栽によらなければ適確な更新が困難な森林
  - ⑥公益的機能別施業森林等
    - 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林
    - 土地に関する災害の防止機能及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林(施業方法別)
    - 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林
  - ⑦保健機能森林区域
  - ⑧制限林
  - ⑨路網整備等推進区域
  - ⑩基幹路網  
(既設の基幹路網、基幹路網予定路線、公道(国県道、市町村道、市町村道等))
  - ⑪計画期間内に間伐を実施する必要がある森林
  - ⑫その他必要な事項  
(活動拠点施設、作業路網以外の森林の整備のために必要な施設、林産物の生産(特用林産物)、流通、加工販売施設、生活環境施設、森林の総合利用施設、森林経営計画作成森林 等)
- ※ ⑪⑫は必要に応じて記載

## 5. 伐採及び伐採後の造林の届出制度

○ 伐採を行う場合、事前に市町村長に伐採造林届出が必要。

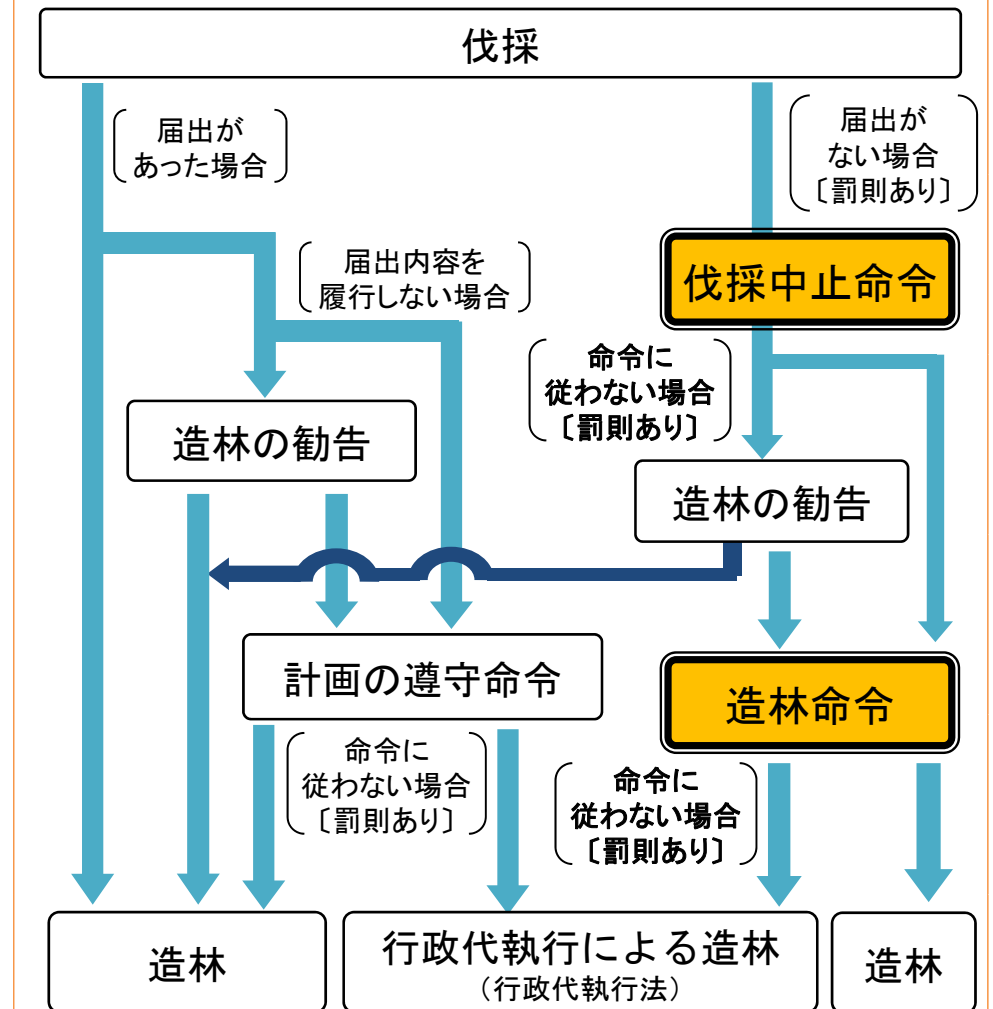
### ①制度改正(森林法改正)

無届伐採に対する伐採中止・造林命令を措置

### ②運用の徹底

- ・森林所有者、伐採する者に制度の周知を徹底
  - ・地域の伐採の状況、材の流れを把握
- 無届の疑いがある伐採・搬出・運材がないか常に注意

#### 新たな制度の概要





# まとめ

## ① 見直しの内容

「ゾーニング」、「路網」、「図示化」

## ② 基本的な事項

→実は最重要

## ③ ゾーニング

→主なやり方を説明。公益と木材のゾーニング。

→木材ゾーニング(潜在的な木材生産のエリア)

## ④ 路網

→路網整備等推進区域

(計画期間に木材生産の効率化を図るエリア)

## ⑤ 図示化

## (確認) フォレスターの視点のまとめ

- 再生プランの趣旨(=森づくりの目的):
  - 森林の有する多面的機能の持続的な発揮
- 森づくりの基本的な考え方:
  - 4原則(合自然性,経済性,保続性,生物多様性保全)
- 森づくりの構想:
  - 配置の目標林型(ゾーニング)、林分の目標林型
- 施業方法:
  - 伐採方法、伐期、更新方法、間伐(密度管理) etc...
- 地域の森林・林業の構想(=市町村計画):
  - ゾーニング、路網、図示化
- フォレスターの役割:
  - 「構想作成」(長期的・広域的な視点)、「合意形成」(公平・公正・中立な立場)、「構想実現」(具体的取組) → 市町村支援